



大阪府インテリア設計士協会

〒541-0059 大阪市中央区博労町1-6-14
TEL. 06-6262-1488 FAX. 06-6262-1553
http://oisblog.exblog.jp/
E-mail ois@jp-interior.or.jp

編集スタッフ

千田・筒井・柴田・田原・森
野口・下垣・山田・奥田・岡崎

2007年
Let's Go!

葉知利書

は し り が き



原点に戻って猪突猛進

会長 疋田 友一

今年は協会創立50周年、社団法人認可40周年の年で、SSS本部総会が大阪で開催される記念すべき年となります。そのため本部と一番関連が深いOISは各支部の先頭に立ってリーダーシップを発揮しなければなりません。しかし、最近の会員の意識は大きく落ち込んでいます。どんなイベントを打っても若い人も理事でさえも集まらない。このことに大きな疑問を持ち話し合い反省し対策を立てようではありませんか。以前OISが落ち込んだ時、親睦から立て直した経緯があります。とにかく誰もが集まりやすい気楽なサロンや勉強会を小規模でも数多く開催することが必要です。記念すべき本部総会を機に原点に戻って皆さんの活力を結集しようではありませんか！

折りしも今、家具の勉強会が立ち上げられその活発な活動に期待を寄せています。同時に本部としても総合的な家具デザインの教科書編集委員会が発足されました。今年はこの家具デザインを中心に総力を結集したいと思います。猪の年、猪突猛進で皆様の絶大なるご協力と参加を期待いたします。また、本部総会にはOISとして最大規模の参加で盛り上げていただくよう、切にお願いいたします。

SSS 第41期通常総会

創立50周年
法人化40周年記念大阪大会

開催日：平成19年5月12日(土)13日(日)
場 所：K K R ホテル大阪
観 光：法隆寺・四天王寺など
費 用：20,000円の半額(今回のみ)
※詳細は事務局へお問合せ下さい。



法 隆 寺

亥年に思う

2007年、今年は亥年です。亥は、猪のことですが、その関係をちょっと調べてみると、亥は豕(し=生まれたての子豚)と字形が似ていて、その豕がさらに「猪」に結び付けられたと考えられます。

そこで「猪」にまつわる言葉を拾ってみますと・・・、
猪突 — 猪武者(進むことだけ考え、退くことを知らない人)、または、猪のように突進すること。

山より大きな猪は出ぬ — 山にいる猪は山より大きいことはない。容器より中身が大きいことはない。人の実力も、能力以上に発揮されることはないというたとえ。

一竜一猪 — 人は誰でも、はじめは同じようなものだが、努力するかどうかで差ができる。つまり、竜と猪ほどの差が出るという意味で、猪はダメな方のたとえ。

呉は封豕(ふうし)長蛇を為し、以って上国を苻食(ふしょく)す：封豕は大きな猪、苻食はしきりに食い荒らすの意。つまり、大きな猪と長蛇は、いずれも欲が深い悪者のたとえ。

また、「亥」は伐り倒した木の株と根っここの形からできた文字で、閉ざすという意味があり、草木が生命を閉じて地中にもぐっている状態です。

このようにみてまいりますと、「亥年」の印象はあまりよくありませんが、亥年生まれの人々の性格は、向上心に富み、忍耐強く意志強固。正直・親切な面も強く、やりだしたら徹底する意志強固型。また、猪に追われる夢を見ると、宴会などに招かれ、ご馳走にありつける兆しといえます。

「亥年」は干支の最後の年、前述のような悪評を覆す努力をし、「子年」に引き継ぎたいものです。
(奥田 忠彦)

KAGUKEN 家具研究会

“KAGUKEN”とネーミングしていますが、家具にこだわらず、建築インテリアエレメントなどの設計、製造、施工、監理をする上で、たとえばこんなデザインをしたいのだが、どのような材料があるかわからない、仕上げ方法がわからない、どのような家具があるかわからない、どういう塗装方法があるのかわからないなど、若い人にとってはまだまだ不明なことがあると思います。そんな問題点を皆さんから出していただき各専門の諸先輩方に教えていただく研究会です。最近の建築、インテリア業界では、コストなどの関係で簡素化されたものが非常に増えている傾向にあるように思えます。このような時期にこそ技術を発揮していける協会(会員)であると思います。

当協会創設半世紀になる節目に、研究部会を発足したのは半世紀という長年インテリア、建築業界に携わってきた多くの諸先輩方のいろいろな技法や技術を、次世代を担う若い人たちに引き継いでもらい、今後の仕事の武器として役立てていただけるよう、定期的に行なっていく予定です。(リーダー：今西 隆次)



辻調理専門学校外観



応接室



勉強会風景

今回家具研究会第1回目、辻調理専門学校見学会に参加しました。学校、しかも料理学校という特殊性の強いものだったので非常に興味津々でした。最初はエントランス~待合のキレイさに見とれて。ガラス越しに実習の様子も見学出来るようになっていました。そして中も電光掲示板で時間割や様々なお知らせをしていたり、中華・和食から製菓までと料理の分野別に教室が分かれていたり、テーブルサービス実習用の教室もあり(しかもしっかりワインも置いてありました!)、その多様なことに驚きました。

そして普段はなかなか見ることのできない重役室~応接間、そこにある花瓶やテーブル、ソファなどのかなりイイ?調度品たち・・・ちょっとした気遣いのある収納や。テーブルサービスの実習室にもあったシャンデリアや椅子なども、勉強になりました。

見学の後はミーティングが教室で行われ、建物の形状がアールになるまでの経緯やステンドグラス、外壁の大理石の話など、デザインされた今西さんからお聞きすることができて楽しかったです。

そして今回は参加されていた皆さんがすごいプロの方々ばかりで、正直緊張してしまいました。せっかくの機会でもあるので次回はもっと多くの若い会員が参加してもらえると嬉しいなあと思いました。(記 栗山 保幸)

●KAGUKENメンバー募集のお知らせ!

登録される人は事務局へメール、FAXでご連絡ください。メンバーは登録制で登録されたメンバーのみに連絡します。その都度参加は自由ですが、出欠は必ず連絡するようにしてください。やめるのも自由です。会員以外の方も、お誘いください。

【開催日】月1回以上

【開催場所】OIS事務局(変更の時もあり)

【内容】テーマにそって研究

【参加費用】無料

●OISのブログをつくりました。

<http://oisblog.exblog.jp/> で会員紹介も行なっています。顔写真と、趣味、特技、おいしいお店紹介などを記入の上、画像と一緒に事務局へメールしてください。

またメールによる情報発信を進めています。

ois@jp-interior.or.jp へ、あなたのアドレスをお知らせください。

堀江スツール

堀江の街に似合うスツールデザインコンテスト

堀江というと、今や第二のアメリカ村的に若者の街になっているが、本来は「家具の街」であった。そこで昨年、堀江の街や公園、ショップ、カフェなどに似合う素敵なスツールのデザインを「堀江・立花通り家具コンペ2006」で堀江ユニオンと(協)立花通家具秀撰会が募集したところ262人・292作品の応募があった。

その中から、第一次審査、第二次審査をパスし栄冠に輝いた作品を紹介する。



金賞：BEAN'S STOOL 西居 洋毅



銀賞：seed seat 山崎 一也



銀賞：FRAME 南 政宏

金賞：「BEAN'S STOOL」	西 居 洋 毅
銀賞：「FRAME」	南 山 崎 一 也
銅賞：「Mag」	岩 田 浩 司
「STOOL」	ヒダカミツハル
「Hollow」	吉 田 智 子
入選：「LENA」	酒 井 礼
「Episode」	湊 口 聡
「STOOL」	森 山 極 博
「hou」	大 内 博 史
図面・スケッチ部門入選	大 平 瀬 裕 子

詳細は ⇒ <http://www.kagu.ne.jp/compe/>

3月のイベント！

その①見学会

病院・介護施設用ベッド
Seahonence Bed™

入院から退院まで看護の新機能



病院・介護施設用ベッド／生活支援ベッドメーカー
シーホネンス見学会

- 日時：3月3日(土) 13:00～16:00
- 場所：シーホネンス株式会社 営業本部
〒577-0067 東大阪市高井田西5-1-30
- 集合：シーホネンス本社正面入口
※駐車場あり(10台まで)
- 締切：3月2日(金)までに事務局へ連絡ください。

シーホネンス(株)は、1957年、(株)関西製作所としてスタートし、今年、設立から50周年を迎え、51年目がスタートする2007年を「第二の創業」と位置づけ、原点回帰を図り、「安全」で「衛生」に配慮した「快適」な環境の実現のための製品の開発・研究に努め、人々が健康で安心して暮らせる社会づくりを目指している会社です。



その②親睦

『楽しく作って・食べて・お宅拝見！』

理事の今西さんのお宅で料理を作ったり、食べたり飲んだりしてワイワイやろうという企画です。

- 日時：3月25日(日)15:00～18:00
- 場所：今西さんのお宅
- 会費：1,000円程度の食べ物をご持参ください。
- 定員：15名
- 締切：3月22日(木)

とにかく気軽に！がテーマです。

参加者には後日、場所を連絡します。

事遊展



会場風景

楽しかった！

今回の『事遊展』は昨年12月7日(木)～9(土)の3日間、コイズミ照明ショールームの一室で開催された。今回のテーマは「モビール」と「照明器具」。

天井いっぱいには様々な材料とデザインで創作されたモビールが飾られ、壁面には、会員ご自慢の作品や仕事での力作の展示、机上や床には、様々な照明器具…会場はなかなかのボリュームでたいへん華やかな雰囲気にも包まれた。

今回も開催期間以前に、作品づくりと交流を兼ねた楽しい企画が事務局で数回開催された。そこで作成された、竹とカラフルな和紙の何本かのフロアーランプが、会場入口で目を引いていた。

また9日(土)の午後からは、照明塾塾長の橋田裕司氏による、和紙とワイヤーを使った照明「木の葉ライト」づくりとミニセミナー「明かりセラピー」が、青年部提案により開催された。不思議なぐらいに心が和むひと時を味わえ、その場で完成させた「木の葉ライト」は各自が持ち帰り、家庭で柔らかな光を放っていることだろう。

残念ながら来場者はそれほど多くなかったが、終了間近には大勢の人で賑わった。

OISならではの『事遊展』…やはり参加してこそ楽しさが倍増するのだろう。大切な行事として今後も継続されるべきことを実感した。(記 森一芽)



『竹あかり』が入口を飾る



橋田先生による「木の葉ライト」づくり

見学記

◆武者小路千家 官休庵◆

13年前にインテリア設計士の一級を受験した時、リビングの一角のフリー設計を4.5畳の茶室プランで受験したことを思い出しながら仙台から飛行機に乗りました。今、茶室のある家を設計中なので、この企画はとても楽しみにしていました。武者小路通りの表玄関前に撒き水をしている様子を見ているうちに、雑踏の中をここ迄たどり着いて疲れた体がスーッと楽になり、心が穏やかになってきたのを覚えました。

寄付(よりつき)から環翠園(かんすいえん)へ行く通路の役目でもある行舟亭(ぎょうしゅうてい)は三畳台目向切り(だいめむこうぎり)で、壁床(かべどこ)の小間で躡口(にじりぐち)や蹲踞(つくばい)もないのに普段最もよく釜の掛けられている席だと聞いて少々驚きました。環翠園前の露地(ろじ)は木々の間からの木漏れ日が柔らかさを増して実に心地よいものでした。環翠園の奥に半宝庵(はんぼうあん)があり、ここは四畳枺床(ますどこ)で中柱出炉(でろ)の間取りで躡口は二枚の板戸になっていました。これは板戸を取り外して前庭露地が見えるようになっていたとのことでした。利休堂は祖堂(そどう)と呼ばれ、ここの天井は掛込(かけこみ)天井の突き上げ窓付きで、私は初めて見た様式です。壁床は半分が斜めになっており、これも初めて見た床でした。床柱は沙羅椿(さらかげ)の古木が使われ、趣のある艶を出していました。弘道庵(こうどうあん)の脇を通って起風軒(きふうけん)へ向かう途中で私の目をくぎづけにしたのが編笠門(あみがさもん)です。松皮葺(ひわだぶき)の屋根の大きな曲線が庭の苔と木々の葉と調和してより一層心を和ませてくれました。起風軒の二階は現代風に立礼席で天井の小丸太垂木の勾配は美しく、立涌雲模様(たてうげん)の組子の明障子は実に優しい雰囲気でした。先月、現場でひざを痛めた私には、正座はつらくて茶会は苦手でしたが起風軒の二階でしたら安心して参加できそうです。ここではコンサートもしていると聞き、我が合唱団もここで歌ってみたいと思いました。まことに残念なのは肝心の官休庵が見られなかったことです。しかし、ひと部屋ごとに特徴のある茶座敷に対し露地や飛石や蹲踞が巧みに配置されており、時間が過ぎるのを忘れていました。施工を行った長屋さん(高島屋スペースクリエイツ株)の詳しい説明に感謝いたします。今後も魅力ある企画を期待します。(記 佐藤 登美)



環翠園前露地



半宝庵の床と前座



祖堂外観



起風軒2階立礼席の間

KIS企画 ●奈良県・大宇陀町●

仲冬の紅葉遅い早朝、京都八条口を南へ城陽、天理を経て大宇陀の町並みを外れ重要文化財の笹岡邸住宅へ。主屋門屋は寛永年間江戸初期の建築様式で、入母屋造り茅葺き白塗壁、土間天井はすのこ張りで用材も周辺の榿、檜、栗材などの自然木を使用し、いかにも郷土大庄屋の構えに重厚さがありスケールの大きい建築であった。その後薬草料理の大願寺へ。待望の料理であるが吉野本葛の葛刺身、朝鮮人参、桑(ナツメ)の天ぷら、黒米御飯などは珍品で他所では賞味できないもので舌鼓、満腹で大いに全員満足気であった。

午後は旧大宇陀町の町指定文化財旧細川家住宅「薬の館」へ。町家が建ち並び城下町から商家町へと発展した交通の要衝で「宇陀千軒」と呼ばれ、江戸後期～昭和戦前にかけての町家が数多く残り自然と調和した町並み景観の町内にあり、館正面下屋軒上には「銅板葺唐破風附看板」が掲げられ住時を伝えている。江戸末期の建築と推定され商家町松山の面影を残す。藤沢薬品工業株の創設の地としても知られている。帰路、宇太水分神社へ。水分三座を祀り本殿は連棟社殿で中央と左右の三殿からなり一間社隅木入春日造り(国宝)水分連結造りの古型で、外部朱塗り墓股細部などには鎌倉時代の特徴が見られる。いつもながら明解な日向進先生の解説に感謝。(記 服部 謙次郎)



笹岡邸住宅

『陶芸教室』体験記

10月29日、OIS主催の陶芸教室に初めて参加しました。普段、パソコンや机に向かっている作業が多く、物を創るということ自体があまりないので、素手で土に触れ物を創り上げていくことがとても新鮮で、素直に楽しかったです。制作した環境も自然の中であり、とても刺激を受け、私の感性が養われたようにも思います。



右端が運天君



作品：五代晋一

最後に、OIS会員の皆さんとの楽しい食事の時間もあり、自分自身にとって役に立つ話も聞けたので、これからも機会があれば参加したいと思います。

(記 運天 信史)